



ブルックライン 公立学校
教育長オフィス
333 Washington Street, 5th Floor
Brookline, Massachusetts 02445
電話 617.730.2401

2020年4月6日

謹啓 PSB 保護者のみなさま

これまでと引き続き、われわれは誰にとっても困難な世界で前進し続けております。どうぞよろしくお願いたします。ご家族の皆さまが最近、多くの新しいご懸念や重圧を抱えていることを存じております。われわれの心は皆さま、皆さまのお子さま、ご家族、そしてCOVID-19の影響を受けたすべての人とともにあります。私たちは献身的なブルックラインの公立学校のすべてのスタッフに感謝し、保護者の皆さまが寄せてくださった温かいお気持ちとサポートに深く感謝しております！

私たちは多くの感染者とともに世界の健康危機の真っ只中にあり、この疾患は今後数日から数週間で加速していくと考えられます。私たちは未来がどうなるかわかりませんが、われわれは子どもたちの教育ニーズとご家族の他の要望とのバランスをとらなければならないことを認識しています。

今のところ、かつての伝統的な学校の日々は完全に変わっており、もはや以前と同じではありません。あなたやご家族にとっての優先事項を考えていただく時、精神的、肉体的、感情的な健康が最重要となるのではないのでしょうか。成績評価や通常の学習をこなしていくことや、SATやAPなどのテストやその他のテストのことは二の次とし、積極的に学び、情熱を追求し、他人を助けたり、生徒の精神・身体、心に働きかけ、想像力をかき立てる取り組みは、継続する必要があります。

たとえ形式的であったとしても、日常生活の一部を送ることは、PKから12年生までの生徒がいつもの習慣を繰り返す、学習し続けることを確かなものにします。継続的な学習や積極的な姿勢、つながりは、生徒の健康と福祉をサポートする重要な要素です。

このことを念頭に置き、私たちはスタッフに、興味深く魅力的な学習の機会と、生徒がスタッフたちや同級生、学習コミュニティとのつながりを維持する方法を提供するよう奨励しております。

本日、私はPSBが生徒たちをどのようにサポートしているかについての詳細を含む、[リモート学習に関する最新のガイダンス（後出）](#)を保護者のみなさまに提供いたします。私たちは[初等・中等教育省の遠隔学習の実施に関するガイダンス](#)の一部に基づき、休校期間中、[教育委員会とブルックライン教員労働組合](#)の間で行われる仕事の責務に関する合意を守する必要があります。

われわれが前進することにより、すべての学年の先生方が生徒たちとつながり、スペシャルエデュケーションと、これに関連する支援提供者が生徒と協力し続けることで、私たちの仕事がより体系化され、コミュニケーションが強化され、より強固になることと確信しております。

また、これはすべて新しい経験であり、完璧なものにはなりえないことはわれわれも認識しております。われわれは一緒に良い進め方を見つけていくことになると思います。通常の学校生活と同じように、先生の仕事や到達目標について質問がある場合は、**まず第一に**その先生に連絡し、直接尋ねてください。先生から連絡がないか、追加の質問がある場合は、校長先生にご連絡ください。お子さんの学習に関する特定の質問は、お子さん方、スタッフ、およびご家族の事情を知っている学校レベルで、最適な対応が得られることと思います。

先生方、スタッフ、学校のリーダーたちはあなたの支援と理解を必要とし続けていることを覚えておいてください。彼らは予想も計画もしていなかった方法で一生懸命に働いています。みなさんと同じ様に、彼らは自分の仕事を管理し、自分の子どもを教え、両親や愛する人の世話をし、パンデミックの不確実さによって引き起こされるストレスと不安と向き合うのに苦労しています。これらの不確実な時期に先生たちがしているすべてについて感謝していることを、どうぞ折に触れ知らせてあげてください。

このひどいウイルスが私たちの生活、家族、コミュニティ、そして世界のコミュニティを混乱させているこの状況に、私は大きな懸念を抱いています。生徒、家族、スタッフが互いに関与し、学び、助け合うためのパートナーシップと協力体制に深く感謝しています。そして、家族が食事をするために働き続けている食品関連業務に従事する人々や、これまでに Google Classroom や Screencastify を使用したこともなく生徒たちのために毎日の朗読を録音している 1 年生の先生、将来の進路について生徒とつながるために、勇気を出して避難所に電話をかける高校のカレッジカウンセラー、生徒の成績について知るための多数の仮想諮問会議に出席する校長先生、そして毎週のニュースレターを生徒へのお祝いと家族でのアクティビティのためのアイデアでいっぱいにしていく PTO リーダー、これらの人々の不屈の努力に信じられないほど感謝しています。これらは、ブルックラインの公立学校が最高のものであることを表す、毎日の何百もの瞬間のほんの数例です。

私たちはあなたのお子さんにお会いできないことをひどく寂しく思っています。休校中やそれ以降も生徒との密接な関係を維持できるようにできる限りのことをします。今後とも、皆様の平和と健康、そして幸福をお祈り申し上げます。

敬具、

Ben Lummis
Interim Superintendent
暫定教育委員長

[家族のための PSB 遠隔学習ガイドンス（後出）](#)

ブルックライン公立学校の遠隔学習

- [PSB 遠隔学習 – A Paradigm Shift\(パラダイムシフト\)](#)
- [遠隔学習 – Guiding Principles\(指導原則\)](#)
- [Remote Learning Guidance \(遠隔学習ガイダンス\)](#)
 1. [Providing Learning Opportunities \(学習機会の提供\)](#)
 2. [Collaborating to Support Students \(生徒を支援するため協同して働く\)](#)
 3. [Weekly Learning Plans \(週ごとの学習プラン\)](#)
 4. [Communicating with Students and Families \(生徒と家族とのコミュニケーション\)](#)
 5. [Monitoring Student Engagement \(生徒の学習のモニタリング\)](#)
 6. [Providing New Learning and Content \(新しい学習内容の提供\)](#)
 7. [Providing Feedback Rather than Grading \(成績よりもフィードバック\)](#)
 8. [効果的な演習 - Remote Learning \(遠隔学習\)](#)

[Special Education Supports \(スペシャルエデュケーションへの支援\)](#)

PSB 遠隔学習：パラダイムシフト

学ぶということは非常に重要ですが、新しい知識を身につけるにはさまざまな方法があります。ブルックライン公立学校における遠隔学習は、通常の学校の授業と置き換えることを意図していないため、保護者とスタッフは、教室でかつて達成されたことを再現するというプレッシャーを感じてはなりません。

最近、教育長は、Kate Ehrenfeld Gardoqui による Education Week 誌のすばらしい記事「[思い出して。オンライン学習がリモートで学ぶ唯一の方法ではないことを](#)」を共有しました。著者が指摘するように、「今回の休校は、教室で起こることは異なる種類の学習を想定するための素晴らしい機会を私たちに提供します。」今こそ、新しいアイデアや新しい考え方を試すのにふさわしい時です。

また、遠隔学習の指導レベルは、従来の教室での指導レベルとは異なることも認識しています。私たちは生徒や家族のニーズにこれまで以上に敏感である必要があり、親や保護者が子どもの学習の面倒をみる機会が多いことを理解しています。通常の教室において受ける典型的な授業よりは、分かりやすく構成された授業を受けたり、先生からのサポートを得て学習したりする時間は少なくなるでしょう。

遠隔学習：指導原則

これを進めるにあたり、私たちは初等・中等教育省の[遠隔学習の実施に関するガイダンス](#)の一部に基づき、休校期間中、[教育委員会とブルックライン教員労働組合](#)の間で行われる仕事の責務に関する合意を守る必要があります。

PSB が遠隔学習のアプローチを定義しており、われわれの学習計画はいくつかの幅広い原則に基づいて行われています。これらは私たちの仕事を進める際の指標となります。

- **私たちは歴史的で壊滅的なパンデミック健康危機の最中に活動しています**— 身体の安全と精神面の健康が最も重要です。子どもたち、家族、スタッフ、コミュニティメンバーがこの危機をまったく異なる方法で経験しており、より立場の弱いコミュニティメンバーが不相应なマイナスの影響を受けていることを意識する必要があります。
- **つながりとコミュニティは重要です**— 先生方は、生徒が自分、同僚、学習コミュニティとのつながりを保つ方法を見出す必要があります。

- **生徒は教師主導の学習の機会に参加し、生徒自身も主導権をとる**—教師主導の学習には、教師によって構成され提供される授業や学習課題が含まれます。生徒の自主学習には、生徒が興味をもったトピック、プロジェクト、オンラインおよびオフライン学習が含まれ、これは教師から提案される場合もありますが、選択するかどうかは生徒に委ねられています。
- **新たな学習が継続します**—数か月間学校が休校になる可能性があるため、先生方は継続して新しいコンテンツを提供します。これには従来の「成績評価」は含まれませんが、教師が有意義な学習の機会とフィードバックを生徒に提供することを意味します。
- **PSBの遠隔学習へのアプローチは、従来の学習環境、学校の1日の授業時間数、または通常のカリキュラムを再現することを目的としていません**—PCのディスプレイを見ている時間や「バーチャルティーチング」は、教室での経験や、先生が学校現場で構築しサポートできるという優れた関係性にとって代わることは期待できません。
- **PCベースではない学習に従事することが重要です**—生徒のPC利用時間を限定することが重要だと私たちは考えています。新たな関心を追求し、他者を助け、生徒たちの精神、体、心を魅了し、想像力を刺激し、家族や友人とつながり続ける必要があります。[ここに](#)PCなしでどう過ごすのが良いか例をいくつか示します。
- **子どもの学齢によりニーズは大きく異なります**—キンダーの日常の教室での経験は、6年生や11年生とは大きく異なります。先生方の指導内容・体制もかなり異なります。キンダーから5年生の先生は、通常の担任の先生と、アートや音楽などのスペシャリストに分けられています。一方で6年生以上では、すべての教科に専任の先生がいます。したがって、遠隔学習においては、生徒（とそのご家族）が学年ごとに違いが出てくることを経験されることと思います。
- **スペシャルニーズを持つ子どもたちには、差別化されたサポートが重要です**—たとえば、IEPの生徒または英語を学習している生徒は、オンラインでは提供されていない追加のサポートとサービスを必要とします。私たちは、これを理解しようとしている他の地区の教育者、専門家、保護者、および教育者と協力することを約束します。
- **われわれは日々変化する状況下にある**—私たちの地域で、今後さらに状況が悪化する可能性があることを理解しております。私たちは、期待に応え、協力しあいながら、共感をもって、柔軟で正しい方向に進む能力を構築していく必要があります。
- **先生、学年、学校の多様性に期待する**—通常、ブルックラインは教師と学校の自律性と創造性を重視しています。私たちの学校文化とPSB/BEUの業務合意においては、自律性が重視されているため、先生、学年、学校による遠隔学習アプローチは多様なものとなるでしょう。

遠隔学習ガイダンス

これらの幅広い原則を念頭に置いて、遠隔学習の機会を提供する先生方の仕事の手助けのために、次の推奨事項をスタッフと共有しております。

1. 通常の学校の日の半分の学習時間を提供する -

教育委員会が最近すべての学校と学区に指導を行ったように、すべての学年は、教師主導型と生徒主導型の学習機会を、少なくとも通常の学校の授業時間の半分の提供します。これはPSBの場合1日3時間程度になります。

- 教師主導の学習には、指導、課題、リソース、資料、記録されたレッスン、スクリーンキャスト（注：コンピュータスクリーンを録画ツールを使って録画したもの）、ビデオ、ビデオ会議などのいずれかを通じて教師によって構成および提供されるレッスンと学習が含まれます。
- 生徒主導の学習には、先生方が提案した選択科目や学習に取り組むことが含まれます。1つのトピックを追求したり、本を読んだり、興味のあるプロジェクトをしたりします。また、長期のプロジェクトを課されたりすることもあります。

2. 生徒をサポートするための協力体制

PSBでは、先生方が協力しあって授業の計画、整理、資料の共有、生徒のサポートを行うことを強く勧めています。

- チームを作ることは、自身や家族の体調不良、または家族のニーズのために教師が働くことができなくなった場合に、生徒が学習を継続する際に役立ちます。
- チームを構成することにより、さまざまな学年のさまざまな学校の生徒が同じコンテンツ、ルーチン作業、到達目標に確実にアクセスできるようになり、生徒とご家族の両方が何をすべきか、どのように行うかを知ることができます。
- チームを構成することにより、チームは作業を分散し、メンバーの強みを活用することができます

3. 生徒に毎週の学習計画を提供する

生徒とご家族に生徒の週間学習プランを提供することで、生徒はその週の到達目標を理解し、それに応じて計画を立てることができます。週の学習計画はご家族にとって非常に役立ちます。各週が始まる前に、教師チームが生徒と家族にこのような学習計画を提供することが推奨されています。

4. 生徒や家族とのコミュニケーション

日常的な一貫したコミュニケーションは、生徒と家族がつながりと情報を得ていると実感するのに役立ちます。先生とスタッフは、いつでものように生徒とつながるかを家族に知らせることで、家族をサポートできます。PSB/BEU業務合意により、週に2回以上指導する生徒とつながるガイドラインが提供されることとなります。

5. 生徒の学習状況のモニタリング

ブルックラインの先生方は生徒たちの学習状況に目を配り続けます。先生は生徒が学習に励むことを期待していますが、生徒をモニタリングする主な目的は、生徒が先生とのつながりを感じているかを確認することです。先生が、生徒が勉強に取り組んでいないことに気づいた場合、家族と連絡を取り、ガイダンスカウンセラー、学校の管理者、その他のスタッフに連絡することが推奨されています。

6. 新しい学習内容の提供

私たちの学校は長期間休校となっているという理解に基づき、また休校が長引くに従い、先生やスタッフが新しい学習内容を導入することが期待されます。新しいコンテンツを導入するとき、先生方は、生徒が情報源や学習の機会にアクセスできること、資料が多様であること、生徒が新しいコンテンツを学習するときにこれまでに学習したスキルを使えることに留意します。また新しいレッスンを習得する際に生徒の側に責任を押し付けることのないよう気をつけます。なぜなら、生徒が自分ですべての新しい資料を学習することが必要とされるこの方法で、学習を続けさせること、またそれを完全に習得させることを保証することはできないからです。

7. 成績よりもフィードバック

先生が提供する学習課題については、現時点では6年生から8年生においては成績をつけられることはありません。生徒たちが課題を完了するための環境を等しく持つことが保証されないためです。学習への取り組みと生徒の成長を促進するために、先生方は選ばれた課題についてできる限りのフィードバックをします。

BHSはフィードバックと成績評価についてBHSの先生やご家族と連絡を取り合いますが、合格/不合格、クレジットあり/なしという方針で進める予定です。

8. 効果的な演習：遠隔学習

先生方に提供した他のすべてのガイダンスに加えて、PSBは効果的なりモート学習実践の[短い要約](#)を作成しました

スペシャルエデュケーションの先生方は生徒と特に密接な関係を持っております。したがって、この困難な時期にご家族とコミュニケーションし、学校との継続的なつながりを保つことはわれわれにとって最も重要です。私たちのスペシャルエデュケーションの先生方の多くは、すでに両親や介護者と連絡を取り合っています。もしまだ連絡がとれていない場合には、スペシャルエデュケーションの先生方が来週、ご家族や介護者に連絡を取り、継続的な学習や他の支援の提供方法について話し合う予定です。彼らは、関連する支援提供者、一般クラスの先生方、および生徒をサポートする他の人々と協力して、アクティビティの推奨事項が適切で、適用することが可能であることを確認します。